HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	英語の動詞句における時間表現の指導の一環としての進行相と完了相の指導 ： 2．現在完了をどう理解させるかーその本質的意味と用法の指導ー
Author(s)	根本, 義文
Citation	教授学の探究, 5, 42-80
Issue Date	1987-03-25
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/13541
Type	departmental bulletin paper
File Information	5_p42-80.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

2. 現在完了をどう理解させるか

——その本質的意味と用法の指導——

根　本　義　文
（北大教育学部4年）

2. 1　現在完了の理論的考察

「非完了は，完了に相対的に無標である」（非完了は，‘助動詞 HAVE＋過去分詞の屈折’という標識を欠いている）し，「現在時制は，過去時制に相対的に無標である」（3人称単数以外の現在時制形式が，形態論的には，原形と同一であるのに対して，過去時制形式は何らかの形態論的過程の適用を伴う）。こうして，‘[They] *take*’におけるような「現在非完了」は，‘[They] *have taken*’におけるような「現在完了」と‘[They] *took*’におけるような「過去非完了」の「両方に相対的に無標である」。そして，「現在完了と過去非完了」の対は，「文法的な対立のうちにある」と見られうるのであるが，このことは，「それらが単一の［文法的カテゴリー］における相異なる項である」という意味においてではなくて，「それらが，最大限に無標な現在非完了から離れていく，対立する方法を表示している」という意味においてである[1]。

この，現在完了と過去非完了の間の形式上の対立に対応する意味上の対立は，0. 2. 5で述べられたように，現在完了が（現在）包含的過去を意味するのに対して，過去非完了が（現在）除外的過去を意味する，ということである。

安藤（1983）は，現在完了の用法として，次のようなものを認め，それぞれの用法を特定する要因を提示している[2]。（動詞のアスペクト特性については，1. 2を参照されたい。）

(1) 〈結果〉：動詞が［完結的，非瞬時的］特性を持っている場合には，過去の出来事が現在に何らかの結果を残していることを意味する。

The shop *has closed*. ［結果：It is closed now.］

(2) 〈完了〉：動詞が［瞬時的］特性を持っている場合には，出来事が現在において完了していることを意味する。（結果は通例，残らない。）

I *have pressed* the button.

just を伴う場合には，〈［現在］における完了〉の意味がいっそう明示的になる。

It *has just struck* twelve.

ただし，*for two days* のような継続の副詞的語句を伴った場合には，出来事の反復を意味する。

I *have pressed* the button *for half an hour*.

(3) 〈継続〉：動詞が［状態的］または［非完結的］特性を持っている場合には，事態が現在まで継続していることを意味する。*for a week, since 1970* のような継続の副詞的語句を伴うことが多い。

I*'ve been* here *for some time*.　［状態的］

I*'ve taught* in this school *for ten years*.　［非完結的］

(4) 〈経験〉：主語の指示対象が，現在までの不定の過去時に何らかの経験をしたことを意味する。この用法で用いられる動詞は，[瞬時的]特性を持たない動詞のようである。経験の有無，回数，頻度を示す副詞的語句（例. ever, never, once, often）を伴うことが多いが，義務的ではない。

Have you *ever been* to Iceland?

I'*ve read* this book *several times*.

ここでは，現在完了の用法として，次のようなものを認め，それぞれの用法を特定する要因を提示しておく。

① '結果' 用法：過去の出来事の結果，現在の状態が成り立っていることを意味する。この用法で用いられる動詞は，'主語または目的語の指示対象における状態の変化を意味する動詞' である[3]。時間の副詞的語句は伴わないものとする。

② '継続' 用法：状態が過去に始まり，現在に至るまで継続していることを意味する。この用法で用いられる動詞は，'状態を意味する動詞' である。継続の副詞的語句が実質上義務的に伴うものとする[4]。

③ '完了' 用法：出来事が現在に非常に近い過去の時点で起こったことを意味する[5]。ここで，'完了' 用法と '結果' 用法の間の関係が問題になる。両者の間の違いは，'結果' 用法が，過去に起こった出来事の結果として特徴づけられる現在の状態を意味するのに対して，'完了' 用法が，現在の状態を問題にせずに，出来事が起こった過去の時点が現在に非常に近いことのみを意味する，ということである。副詞 just が，過去の出来事時の現在との近接性を明示的にする。'結果' 用法で用いられる '状態の変化を意味する動詞' に，just が伴う場合にも，現在完了の用法は '完了' 用法であるものとする。こうして，'完了' 用法で用いられうる動詞は，'状態の変化を意味する動詞' を含む '出来事を意味する動詞' である，ということになる。

④ '経験' 用法：現在に至るまでの不定の過去時に発生した事態を，主語の指示対象が経験として持っていることを意味する[6]。この用法で用いられうる動詞には，制約がない。現在完了の用法を '経験' 用法であるとして特定する要因は，むしろ，経験の有無，回数，頻度を示す副詞的語句の共起である。また，現在完了の動詞句を含む節の主語の指示対象は現存する人または物でなければならないということがよくいわれるが，「現存」の条件が絶対に必要であるのは，現在完了が '経験' 用法で用いられる場合のみである[7]。そこで，主語の指示対象の「現存」を，'経験' 用法の必要条件とする。

2. 2 現在完了の指導過程の構造

現在完了の指導において，まず考慮されなければならないのは，その本質的意味である。現在完了の用法というのは，現在完了の表面的な意味にすぎない。現在完了の諸用法を現在完了の諸用法というひとまとまりにしているのは，その本質的意味である。したがって，本質的意味を理解させることは，指導の目標として欠くことができない。しかしながら，現在完了の本質的意味は，実際には，用法という形をとって現れる。しかも，用法はそれぞれに特徴を持っている。用法の明確な区別を理解させることは，それ自体として意味のあることであるし，また，本質的意味を理解させる上で，必要なことでもある。そこで，現在完了の指導の目標として，現在完了の本質的意味と用法の理解という 2 点を設定する。

現在完了の本質的意味は，それ自体で現れることがなく，必ず用法を通してでしか見ることができない。しかし，現在完了の本質的意味の確定を指導の最後，つまり，諸用法の後に持って来ることは，用法の羅列に終わり，諸用法の本質的意味との関連がうまくつかまれないと思われる。現在完了の本質的意味と諸用法のはっきりした認識をさせるためには，むしろ，本質的意味の確定を指導の初めに持ってくるということになる。そうすると，先にも述べたように，用法を通してでしか本質的意味を提示することができないので，4つの用法の中で，現在完了の本質的意味が如実に具現化された用法として，どれを指導の最初に持って来ればいいかということが問題になる。そして，その用法の現在完了と，対応する“単純過去”（＝過去非完了）を対比して，“単純過去”との大きな違いを指摘することによって，現在完了の本質的意味を提示するということが考えられる。本プランにおいては，その用法は‘結果’用法だと判断している。なぜ‘結果’用法なのかというと，他の3つの用法とは異なり，現在の状態がはっきり分かるということと，‘結果’用法が表す出来事自体は過去時に完結しているということの2つの特徴を持っているからである。つまり，“単純過去”との対比によって，過去時に出来事が完結しているという共通点と，現在のことを問題にしているか否かという相違点が明白になるからである。

次に，‘結果’用法に続く第2の用法として，現在完了の包含的過去という特徴，すなわち，現在にも話し手の意識が向いているという特徴の認識を強化するために，明白に現在の状態がわかる‘継続’用法を持って来るべきである。そして，現在から見た過去としての‘完了’用法に続け，最後に，特定の過去を表さない‘経験’用法に至る。

この順序は，次のような事実に基づいている。第1に，‘結果’用法と‘継続’用法は現在の状態が明白であるという点でまとめられ，‘完了’用法と‘経験’用法は現在の状態を問題にしない不定過去を表すという点でまとめられる。第2に，最初の3つの用法は，それぞれに特有な動詞を持っているが，‘経験’用法は持っていない。第3に，最後の3つの用法は，特有の副詞的語句と共起するが，‘結果’用法はそうではない。なお，副詞的語句を伴う用法については，副詞的語句が用法を特定する強い力を持っているため，用法自体の指導の後に，その用法の副詞的語句として指導を行う必要がある。

こうして，次のような指導過程の構造が得られる。

1. ‘結果’用法と“単純過去”の対比による現在完了の本質的意味の指導
2.(a)‘結果’用法との対比による‘継続’用法の指導および‘結果’用法と‘継続’用法の意味上の違いの指導
   (b)‘継続’用法と共起する副詞的語句の指導
3.(a) “単純過去”との対比による‘完了’用法の指導
   (b)‘完了’用法と共起する副詞的語句の指導
4.(a)“単純過去”との対比による‘経験’用法の指導
   (b)‘経験’用法と共起する副詞的語句の指導
5. 現在完了のまとめ

2. 3 授業書「完了形入門 —— 現在完了形・編 ——」と実験授業の記録

この授業書による実験授業は，1986年10月29日から11月25日までの約4週間にわたって，北海道札幌工業高等学校の真田寿夫先生によって，同校の電気科1年A組・B組および土木科

1年A組・B組の4クラスで，154名の生徒を対象として行われた。各クラスの授業時数は次の通りである。

電気科1年A組（8時間），電気科1年B組（9時間）
土木科1年A組（8時間），土木科1年B組（9時間）

ここでは，電気科1年B組と土木科1年A組の2クラスの授業記録から，現在完了の本質的意味である包含的過去が正答の鍵となる次の5つの箇所についての授業記録を紹介する。

授業書 p. 3 「質問1」
授業書 p. 10 「問題2」
授業書 p. 17 「質問3」
授業書 p. 19 「質問4」
授業書 p. 21 「質問5」

授業書「完了形入門 —— 現在完了形・編 ——」

目　　次

〔はじめに〕
P．1～P．2　登場人物とプロフィール
〔第一章〕
P．3～P．4　質問1とマサーミ博士の解説1
P．5　マサーミ博士のお話1　＊現在完了の形式
P．6～P．7　博士から君へ挑戦！
P．8～P．9　問題1とマサーミ博士の解説2
P．10～P．11　問題2とマサーミ博士の解説3　＊現在完了形の本質的意味
〔第二章〕
P．12　マサーミ博士と健君・美香ちゃんの会話
P．13　問題3
P．14　マサーミ博士のお話2　＊「結果」用法と「継続」用法
P．15～P．16　質問2とマサーミ博士の解説4　＊「継続」用法の副詞語句
〔第三章〕
P．17～P．18　質問3とマサーミ博士の解説5　＊「完了」用法
P．19～P．20　質問4とマサーミ博士の解説6　＊「完了」用法の副詞語句
〔第四章〕
P．21～P．22　質問5とマサーミ博士の解説7　＊「経験」用法
P．23～P．24　問題4とマサーミ博士の解説8　＊「経験」用法の副詞語句
P．25　マサーミ博士のお話3　＊“have/has been to”
〔まとめ〕
P．26　問題5
P．27　現在完了形ってこんなことだ
P．28　ルーシーからの手紙

はじめに

英語では、過去に起きた出来事を表すのに、動詞の過去形を使って表しました。
例えば、次のようにです。

例文1　　He went to America (last year).

彼は（去年）アメリカへ行きました。

しかし、英語では、もう一つ過去の出来事を表す言い方があります。

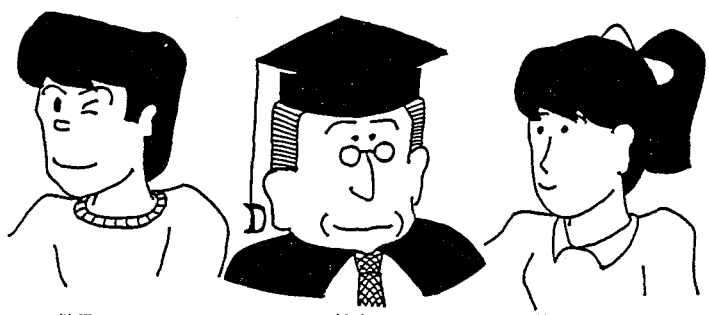
例文2　　He has gone to America.

彼はアメリカへ行きました。

日本語では、両方とも＿＿線部は同じ言い方なのに、どうして英語では2通りも言い方があるのでしょうか。2つの文の違いは何なのでしょうか。
どういう違いがあるのか、さあ、それをこれから勉強して行くことにしましょう。

— 1 —

《登場人物とプロフィール》



健君
（Ken）

何でも知りたがり屋の
元気な少年。
美香ちゃんと幼なじみ。
マサーミ博士と友達。
高校1年生。

マサーミ博士
（Dr. Masami）

健君、美香ちゃんと友達。
とにかく何でも知っている。
ただ、英語の質問で人を
からかうのがたまにきず。
ジェリー君、トム君とは、
昔からの知り合いで、よく
自分の家に呼んでいる。
娘が一人いる。
大学教授をやっている。

美香ちゃん
（Mika）

健君と幼なじみ。
優しくて活発な少女。
マサーミ博士と友達。
高校1年生。

— 2 —

第一章
健君と美香ちゃんは、休みを利用して、ロサンジェルスに住んでいる知り合いのマサーミ博士のところへ遊びにやって来ました。ロサンジェルスの空港では博士が、迎えに来てくれていました。博士の家へ行く途中の三人の会話です。

健：博士、博士のところにいるトム君とジェリー君は元気ですか？
美香：二人とも博士の家で待っているんでしょ？
博士：二人とも元気じゃが、あいにく今は一人しかおらんのじゃよ。
二人：えっ。じゃあ誰がいるんですか？
博士：せっかくわしのところへ遊びに来たのじゃから、ヒントとして二人の近況を教えよう。それで、今、トムとジェリーのうちのどっちが家にいるかを当ててごらん。
二人：また博士の悪い癖が始まった。もう！！

マサーミ博士が二人に与えたヒントは、次のような近況です。

ヒント１：　Tom has gone to Hawaii for pleasure.
（トムは遊びでハワイへ行った。）

ヒント２：　Jerry went to France for pleasure last month.
（ジェリーは先月遊びでフランスへ行った。）

［質問１］
マサーミ博士の家にいる上の絵の少年はトム君でしょうか？それとも、ジェリー君でしょうか？マサーミ博士のヒントを使って考えてみよう。

マサーミ博士の家にいるのは（　　）君の方である。

また、そう思った理由を書いてみましょう。

［理由］

電気科１年Ｂ組

《授業記録》
トム：11人　ジェリー：25人
（人数を調べ終わって）
T：宮崎，どっちだった？
P：僕は，えーと，トムが家にいる。

T：トムが家にいる。そういうふうに判断した理由をちょっと言ってみれ。
P：理由は，だから，goneって過去分詞でしょ？
で，上（ヒント１の文）の言い方はね，「行ったことがある」みたいな経験ていうような感じにとれたから。
T：そうか。
P：うん。
T：他にあるか？　トムだと思った人。他に理由。……
P：（何人かの生徒にあてるが理由は出てこない）
T：相原，ジェリーか。
P：トムは，いつ遊びに行ったか，わかんないから，もしかしたら，今も行ってるかもしれないし。それで，ジェリーは先月遊びでフランスに行ったんだから，行って帰ってきてねえから，いくらなんでも一カ月遊びで行ってるはずないから。（ここで，他の生徒のチャチャがはいる）
T：宮道，理由言ってみれ。
P：行ったことがあるってのってたのを見たことがある。
T：あと，ジェリー。……う～んと，俺はこう思うって判断したのないか？
白井，どうだ？
P：トムで～す。
T：白井，トムだったか。え～，洋幸は？
P：トム。
T：お前もトムか。　平は？
P：（他の生徒の声で全然聞き取れず）
T：先月遊びに行った，だから，もう帰っているはずだってことか。両方とも，あまり積極的でないな。宮崎のが，経験みたいのを言っているはずだから，行ったことがあるなら，帰っているはずだって，これが一番，積極的理由みたいだな。これ。あとないのか？　あとは，先月行ったんだから，もう帰っているはずだ。ジェリー派。……あとないのか？　変える人いるか？　俺はトムだと思っていたけど，トムにするとか，ジェリーだと思ったけど，トムにするとか。……岡本，変えるって。今の理由をちゃんと聞いていたら，どうもトムみたいだって。あと，ほら，変えれ。変えるなら今のうちだぞ。
P：やっぱり，ジェリーだべ。
T：ほら，ちゃんと聞いてれよ。
P：ヒント１の「トムはハワイへ行った」ってあるしょ？「行った」ってのがね，has gone toでね。現在完了使ってね，今も，そこに行っているって言ってるんだ。２で「行った」っていうのは，went toでね，過去形表しているからね，現在はいるの。だからね，マサーミ博士の家にいるのは，ジェリー君。
T：ジェリー君だな。長橋の理由が一番今までの中で，きちっとした理由だったべ。変えるのいるか？　岡本，どうだ？　ん？　長橋の逆？
P：つまり，ヒント１がさ，ハワイへ行ったことがあって，もう，行ったことがあるだから，もう，帰ってきてる。で，ヒント２は，ジェリーはフランスへ行ったきりで，いない。
P：あっ，わかった。

T：鎌田，どうわかった。
P：ヒント2が，ジェリーが先月フランスへ行ったんでしょ？　went toったらね，行っただけでね，戻って来たって意味はない。つまりさ，フランスへ行ってね，いない。帰って来てないから。トムはいる。
P：先生，僕もやっぱり，トムがいるにします。
P：（大爆笑）
T：鎌田のなかなか説得力あったか？
P：はい。
T：鎌田－岡本説が有力になってきたぞ。しかし，長橋の，ちょっと，かなりいい理由づけから，少し発展したんだよな。で，岡本と鎌田のあれが出てきたんだ。……変えるのいるか？……で，少数派が正しいって。理由づけの方は，少数派の方が圧倒的に調子いいね。宮崎から始まってな。……したら，時間ないから，解説を配るぞ。

土木科1年A組

《授業記録》

トム：24人　ジェリー：13人

（人数を調べ終わって）
P：やっぱり，これ，多数決で多い方。
T：あん？　多数決で行くか？　な。トムがいる。これが正解である。
P：ダメだよ。
T：したら，垣田，言ってみれ。垣田，どっちよ。
P：ジェリー。
T：ジェリーか。じゃあ，理由言ってみれ。
P：理由はね，先月行ってね，今月は帰って来ている。
P：（笑い）
T：先月行ったから，今月はもう帰って来てると。そういうふうに思った？
P：そう。
T：浦島，どっちだった？
P：トム。
T：トムか。どうしてトムだった。
P：うんとね，has goneは経験を表すから。
P：どこに書いてあんのよ。
P：（笑い）
T：あん？　Tom has goneっていうhas goneて現在完了で，現在完了は確か，経験表したからと。そういうことだな。だから，行ったことがあると。フランス（実はハワイの間違い）へ行ったことがあると。
P：お～！
P：日本語違うべや。
P：ハワイだよ。
T：あっ，ハワイだ，ハワイ。

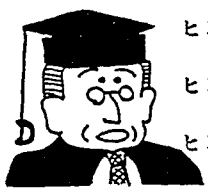
P：違うべや，ハワイへ行ったことがあるだべや。
P：（笑い）
P：ハワイへ行ったって書いてあるべや。
T：あん？
P：ハワイへ行ったって書いてあるべ。
P：そうだ。
T：そうだ，あん。……浦島のは，ちょっと，理屈に合いそうだな。
P：俺もそうです。
T：うん？　平野，同じか。ジェリー，ほら，少数派なんだから，ジェリー，ちょっと，もう少し，こういうことだって，ジェリー派，ちょっと，頑張って，反論しないと，トム正解にするぞ？……諏訪，トムか？
P：ジェリー，フランスへ行って，金がなくなって帰って来れなくなるから。
P：（笑い）
T：だから，トムがいるのか。……沢目，どっちだ？
P：トム。
T：トムか。
P：俺もトム。
T：あん？　変えんのか，トムに。
P：うん。
T：よし，トムに変えんの，ちょっと，手を上げれ。ジェリーからトムに変えんの。…二人か？
P：やっぱりジェリーかな？
P：優柔不断なんだ，お前。
T：ジェリー，ほら，なんか言わないと，もっと減ってくぞ。…トム，正解にするぞ。
P：あっ，やっぱりジェリーだわ……やっぱし，トムかな？
T：尾西は？
P：ジェリーだよ。
T：ジェリー，なんか言ってみれ。
P：したら，ジェリーだわ。
T：なんだか，フラフラしてて。今野，一番フラフラだな。フラフラ今，こら。
　フラ今，こら。
P：やっぱり，僕，トムだわ。
T：日和見。
P：ジェリーかもしれない。
T：日和見だぞ，日和見。……石田，どっちだ？
P：トム。
T：トム？　……ジェリーは？　あん？　斉藤は？　ジェリーか？
P：トム。
T：逢見は？
P：トム。
T：トム。ジェリー，あんまり出てこないようだから，ちょっと，次行くぞ。あん？　ジェリー？

ジェリー，よし。沢目，言ってみれ。
P：あっ，俺，トムだよ。
P：(爆笑)
T：なに。佃は？
P：俺，トム。
T：トム？　大坂は？
P：トム。
T：トム？　橋本は？……トム？　なんだ，ジェリー派，全然劣勢だな。小野，よし。小野，ジェリーだべ？　なんで，ジェリーだ。
P：理由書いてあるよ。なんで消してんだよ。
P：(笑い)
T：ジェリー派，やられっぱなしでいいのか？　…よし，こうなったら，見てみるぞ，こら。
P：先生，それに答え書いてあんの？
T：読んでビックリすんなよ。

《コメント》

2クラスとも，生徒の発言を見てわかる通り，現在完了の用法について混乱が見られる。また，過去非完了と現在完了の区別も，かなり曖昧であることがわかる。導入問題としては，まずまずの問題であろうと思われる。

［マサーミ博士の解説1］



ヒントの文をもう一度見てみよう。

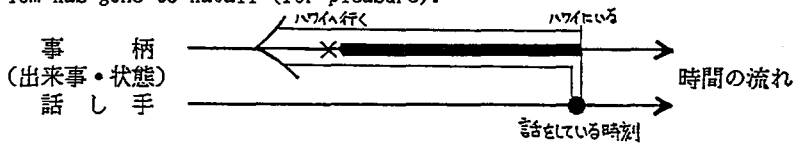
ヒント1：　Tom has gone to Hawaii for pleasure.

ヒント2：　Jerry went to France for pleasure last month.

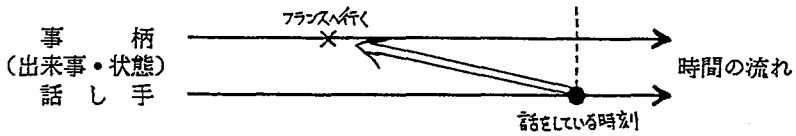
2つの文で大きく違うところは、“went”と“has gone”のところじゃな。“went”は、動詞 GO の『過去形』で、“has gone”の‘has’は、 HAVE の『現在形』じゃろ。そして、『過去形』は過去のことを表し、『現在形』は「今」、すなわち現在のことを表すのじゃ。‘gone’については後で説明するからのう。
そこでじゃ、ヒント1の“has gone”は「トムはハワイへ行った」という過去の出来事だけでなく‘has’という『現在形』によって、「ハワイへ行ったまま」という状態が現在まで続いていることをも表しているのじゃ。したがって、今、トムはハワイにいて、ここ(ロサンジェルス)にはいない、ことがわかるのじゃ。それに対して、ヒント2の“went”は「ジェリーは先月フランスへ行った」という*過去の出来事*しか表していなくて、現在の状態は、何も意味していないのじゃよ。　したがって、二人のうち、今、一人しかマサーミ博士の家にいないのだから、家で待っている絵の少年は、ジェリー君だ、ということがわかるのじゃよ。

今言ったことを、簡単に図に示すと、次のようになるじゃろな。

1. Tom has gone to Hawaii (for pleasure).



2. Jerry went to France (for pleasure last month).



→ は自然の時間の流れを示し、出来事・状態や話し手はその時間の流れに乗っている。そして、出来事・状態が［現在のこと］であるか、［過去のこと］であるかは、［話をしている時刻］を基準にして、その時刻と同時のこと、その時刻より前のことであるかによって決まるのです。≪⇒は、話し手が、時間の流れの中のどこを見ているかを示している≫のです。また、×　は出来事を表し、■　は状態を表す。
〔事柄〕は出来事・状態のことを指す言い方です。

［マサーミ博士のお話１］
P.4 で説明しなかった 'gone' について話をしておこう。'gone' は、普通、動詞 GO の過去分詞と呼ばれておるのじゃ。過去分詞というのは、動詞の変化形の一つなのじゃ。そして、単独では、現在形や過去形と同じようには使われないのじゃ。
例えば、次の例文を見てごらん。

〈現在形〉　［○］　Ken goes to school with Mika every day.

〈過去形〉　［○］　Ken went to America with Mika last year.

〈過去分詞〉［×］　Ken gone to the library with Mika.

'gone' のような「過去分詞」が、現在形 'goes' や過去形 'went' が現れる位置に使われるときには、必ず、『have／has と一緒になって使われる』のじゃ。

Ken has gone to the library with Mika.

Ken and Mika have gone to the library.

have／has と過去分詞が一緒になって、"have／has gone" の形で使われると、P.4 で説明した『過去の出来事と現在の状態』の両方を表す言い方になるのじゃ。また、過去分詞と一緒になった 'have／has ' は、次のような特徴を持っているのじゃ。

［「～を持っている」という意味は表さない。］過去分詞が、現在形や過去形が現れる位置に現れることができるよう［補助の役目］をしている。

※この "have／has ＋　過去分詞" を『現在完了形』と呼ぶのじゃよ。

過去分詞への変化の仕方によって、動詞は大きく２つに分けることができるのじゃ。
①“「原形と同じつづり」＋ｅｄ”で過去分詞になる動詞。 ➡ 〔規則変化の動詞〕
② ①以外の動詞で、動詞によって、あらかじめ形が決められている動詞。
➡ 〔不規則変化の動詞〕
不規則変化の動詞は、数が少なく、辞書の巻末などに、下の例のような形式で変化表が載っているので、それを使って調べるとよいじゃろう。

原 形	過去形	過去分詞
go	went	gone

〔博士から君へ挑戦！〕
マサーミ博士から君へのクイズです。博士には、娘が一人いますが、まだ名前が明らかになっていませんね？おまけに今は、どこかに旅行中なんだそうです。博士は簡単に教えてくれません。さあ、博士の挑戦を受けて見事、博士の娘の名前と旅行先を当てよう。

〔博士からのヒント１〕
下の文の中から「現在完了形」の文を選び、その【指定文字】を番号順に並べてごらん。そうしたら、わしの娘の名前になるんだがのう．．．．．

番号		【指定文字】
①	Jerry has nice coats.	[A]
②	Tom has broken the window.	[L]
③	I found out all about her then.	[T]
④	We have good-friends.	[I]
⑤	Many oranges have fallen to the ground.	[U]
⑥	You have torn your shirt.	[C]
⑦	Masami came home at 4:00 yesterday.	[O]
⑧	Ken and Mika have twin watches.	[V]
⑨	I got up early this morning.	[M]
⑩	That pond has frozen.	[Y]

【指定文字】を番号順にならべると．．．

娘の名前は［ ］

さあ、今度は、ルーシーが、どこへ旅行に行ったかを当てよう。

〔博士からのヒント２〕
前のページの「現在完了形」の文に使われている過去分詞が、どういう動詞の過去分詞かを辞書を使って調べてごらん。そして、下のパズルの中から、調べた動詞を探し出し、塗りつぶしてごらん。うまく塗りつぶせると、旅行の行き先の数字が現れるんじゃがなあ。
（注）ただし、動詞　は、縦、または、横になって入っている。
　　下の□の中は（例）のようにメモとして使うとよいじゃろう。

（例） gone は　動詞　go　の過去分詞

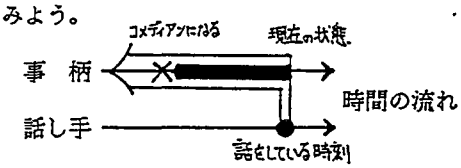
パズル	U	L	B	E	C	O	M	E	N
	E	A	R	Y	X	F	O	X	O
	N	S	E	E	M	A	P	E	T
	A	T	A	L	K	L	O	T	E
	B	R	K	U	T	L	X	I	S
	L	A	F	R	E	E	Z	E	T
	E	V	O	I	S	T	A	Y	A
	N	B	U	S	E	E	A	T	E
	D	L	N	E	W	A	L	K	S
	B	E	D	E	A	R	U	N	O

1．ハワイ　2．日本　3．イギリス　4．アメリカ東海岸　5．ドイツ

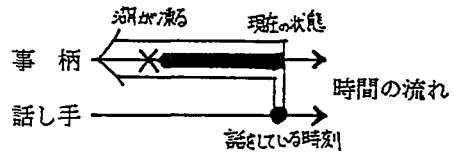
ルーシーは今　［　　］にいる。

〔問題１〕
P.4 のマサーミ博士の “have／has ＋過去分詞” についての解説を参考にして、次の英文からわかる「現在の状態」を日本語で言ってみよう。

(1) Takeshi has become a comedian.
（タケシはコメディアンになったんだよ。）

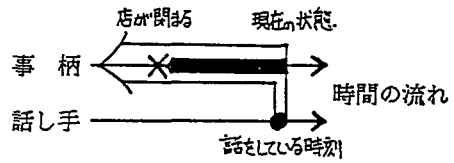


タケシは今は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿



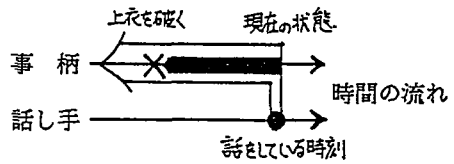
(2) That lake has frozen.
（あの湖は凍ったよ。）

あの湖は今は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿



(3) The shop has closed.
（その店は閉まったよ。）

その店は今は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿



(4) Jerry has torn his shirt.
（ジェリーは上衣を破いたんだね。）

ジェリーの上衣は今は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

［マサーミ博士の解説２］

P.4 のわしの解説にしたがって(1)～(4)の文の「現在の状態」を考えると、次のようになるのじゃよ。
(1)～(3)は【主語の「現在の状態」】が述べられ、(4)は【目的語の「現在の状態」】が述べられるのじゃよ。
これは、動詞が表す状態の変化が、『主語についてのこと』か『目的語についてのこと』かによって違ってくるのじゃ。

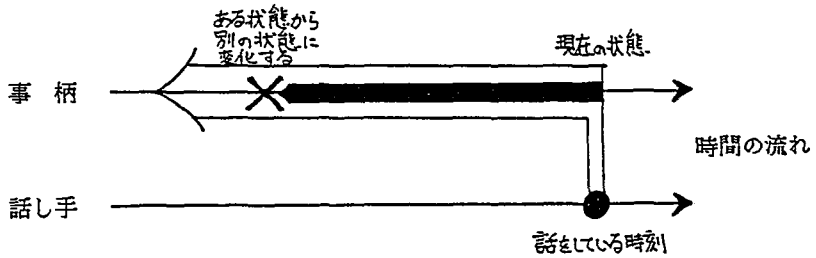
(1)タケシがコメディアンになったのは、現在のことではなくて過去のことじゃろ。
これも‘has’という言葉によって「コメディアンになった」状態が現在まで続いていることが表されるのじゃ。したがって、タケシは今はコメディアンである、または、コメディアンをやっている、ということがわかるのじゃ。

(2)あの湖に（氷が張って）凍った、のは［　　］ではないじゃろう。これも‘has’という言葉によって「湖が凍った」状態が［　　］まで続いていることが表されるのじゃ。したがって、あの湖は［　　］凍っている、ということがわかるのじゃ。

(3)その店が［　　］、のは現在のことではなく、現在より前のことじゃろう。これも、‘has’という言葉によって「店が［　　］」状態が現在まで続いていることが表されるのじゃ。したがって、その店は今は［　　］ということがわかるのじゃよ。

(4)ジェリーが上衣を破いた、のは現在ではなくて過去のことじゃろ。しかし、'has' という言葉によって「上衣が破れた」状態が現在まで続いていることが表されるのじゃ。したがって、ジェリーの上衣は今は破れている、ということがわかるのじゃよ。

これらはすべて、次のように図示できるのじゃ。（問題1の図とくらべてごらん）



[問題2]
前後のつながりを考えて(a)、(b)のうち、より適切な方を選んでみましょう。

(1) Ken { (a) lost / (b) has lost } his key. So he can't get into his home.

（健はカギをなくした）　（それで彼は今、家に入られない）

(2) Mika { (a) cut / (b) has cut } her hair. Now it is long again.

（美香は髪を切った）　（今は彼女の髪はまた長くなっている）

(3) Masami { (a) bought / (b) has bought } a car. So now he needn't use public transport.

（マサーミは車を買ったのです）　（それでもう公共の交通機関を使う必要がない）

電気科１年Ｂ組

《授業記録》

(1)(a) 0 人　(2)(a) 35 人　(3)(a) 11 人

(b) 36 人　(b) 1 人　(b) 25 人

（人数を調べ終わって）

Ｔ：(1)はどうして，(b)っていうふうに判断したか。健司か。(1)，どうして(b)だっちゅうことなんだ？

Ｐ：健が，カギをなくして，(a)にしたら，なくした，になって，過去のところを示していて，(b)は，健がカギをなくして，今も続いているという状態が続いているから。そして後の文は，それで彼は今，家に入られないから現在も続いているから。

Ｔ：なくした，ということが，現在も続いて影響していると。したがって，(b)である。他に？いねえか？　鎌田，どうして(b)にした？

Ｐ：だから，カギなくしたのが，今もないしょ？　だから，(b)じゃない。

Ｔ：だから，入れないから。その結果，入れないからな。(2)は，相庭だけ(b)になっちゃって，あと，(a)だな。向山，どうして(a)だって判断した。

Ｐ：過去に髪を切って，現在は髪が長くなっているから。で，現在も続いていないということで，髪を短くした状態じゃないから。

Ｔ：短くしたという状態が続いていることじゃないか。だから，過去のことだと思ったと。うん，なかなか立派なもんだな。石岡は，どうして(a)だと判断した？

Ｐ：（他の生徒の声が，大きく入り過ぎて，全く聞き取れず）

Ｔ：昔の起こったことが，そのまま続いている状況じゃないから，過去だと。相庭は，なんか，こっちで判断したのは，何か特に理由あるか？

Ｐ：ない。（この生徒は，前回までずっと欠席していた）

Ｔ：ないか。この(3)が分かれたんだよな，(3)がな。(3)，なんで分かれたんだ？　これ。…岡本，どっちだった？

Ｐ：はい？

Ｔ：ちゃんと聞け。ほら。岡本，なんで(b)だと判断した？

Ｐ：それは，車を買って，今は，今はもう，その，今まで車を買ってから，その公共の交通機関を使う必要がないんだから，使う必要がないってことは，車を使用しているってこと。だから，今，車使ってるってことだから，その車を持ってるってことだから昔の状態がずっと続いてるから。

Ｔ：前の状態がずっと続いているから，だから，現在完了の方だと。え～，(a)にしたの誰だった？　松井か？

Ｐ：(b)。

Ｔ：(b)か。

Ｐ：鎌田，(a)。

Ｔ：鎌田，どうして(a)にした？

Ｐ：車買ったしょ？　……(b)だ。

Ｔ：うん？　(b)に訂正か。……石川，(a)でなかったか？

P：(a)。
T：どうして(a)にした。うん？　(b)選んだのはよ，例えば，岡本は，「買った」っていうそん時の状況が，ずっと続いているから，車乗ってるから，公共機関を使う必要がなくなったんだから，現在完了だと。こういう説だ。
P：(生徒どうし，言い合っている)
T：白井は，どっちだ？　(b)？　中村は？　(a)か。どうして(a)にした。
P：(b)だと，買い続けているみたいだから。
T：おう，中村から，なかなかなのが出たぞ。買ったっていう，その，動作の継続で，買い続けてるみたいな感じになると。(b)の方は。買い続けるってのはちょっと，おかしいから，(a)だと。これが，中村の意見だ。……松井も変えるか，したら。(a)に変えるのか？
P：いや，わかんない。
T：中丸，どっちにした？
P：(a)。
T：(a)か。(a)にした理由は特にあるか？　中村と同じか。三鍋，どっちだった？
P：はい，(b)です。
T：(b)か。宮崎は？
P：(b)です。
T：木屋路は？
P：(a)。
P：(a)か。どうして(a)だ。
P：理由はない。
P：(笑い)
T：理由ないってことないべ。寺田は。
P：(b)。
T：(b)？
P：先生。(a)。
T：なに？　鎌田，また，(a)に戻るのか。なんでよ。
P：(b)ってのはね，買い続ける意味になる。
T：買い続けるっていう意味じゃねえと。
P：買ったはね，買ったってのは，そういう意味じゃない。
T：買い続けるってのは，おかしいと。だから，まあ，(a)に戻ると。あと，ちょっと，変えるのいるか？　どっちかに。
P：(b)。
T：(b)に変えるのか？　新井田，どっちだ？
P：(a)から(b)に。
T：よし，ちょっと，したら，解説見るぞ。

土木科1年A組

《授業記録》

(1)(a) 4 人　(2)(a) 25 人　(3)(a) 8 人

(b) 35 人　　(b) 14 人　　(b) 31 人

（人数を調べ終って）

P：全部，多数決だべ。

T：多数決か？　多数決で当たりか？　多数決で当たりか？　お～し，諏訪，ちょっと理由言ってみれ。

P：えっ，理由なんかない。

T：あん？　諏訪，どこに文句あんだ？　…(3)か？

P：いや。

T：(2)か？

P：いや，全部。

T：全部？　全部，少数派か？　諏訪は。

P：いや，(b)はね，多数決でいいんだ。(1)はね。(1)は多数決ね。

T：(1)は多数決で？

P：(2)，(3)は少数意見を大切にして。

T：あっ，そうか。…理由。

P：あるわけないしょ。

T：え～。

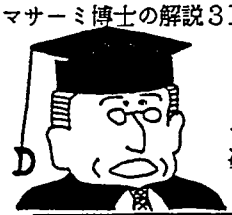
P：正解は？

T：正解な。正解見るか。

《コメント》

土木科A組の方は分析ができないが，電気科B組においては現在完了と過去非完了の違いが理解されつつあるということがわかる。とりわけ，(3)は非常に迷いやすい問題であるため，逆に，(3)についての生徒の発言によって現在完了についての理解の程が分かると思う。

［マサーミ博士の解説３］



そこでじゃ、過去形と現在完了形との使われ方の違いじゃがな、次のような違いがあるのじゃよ。

過去形の文	現在を含まない「過去の特定の時」の事柄を表す。 したがって、現在のことは意味しない。

現在完了形の文	「過去から現在まで広がる期間の中にある」事柄を表す。 そして、その事柄が現在と関係のあることを意味する。

＊(1)の過去の出来事は「カギを失した」ということである。それに続く文では、「家に今入られない」ということが言われている。家に入られないのは、失したカギがまだ見つかっていないということが関係しているためじゃろ。(a)と(b)のうち、「カギをまだなくしたままだ」という現在の状態をも表すのは、(b)の現在完了形なのじゃ。したがって、(b)がいいことになるのじゃ。

＊(2)の過去の出来事は「美香は髪を切った」ということである。次の文では「美香の髪はまた長くなっている」ということが言われている。(a)と(b)のうち(b)の現在完了形を選ぶと、これは「美香の髪はまだ切られたままだ」、つまり「まだ短い」という現在の状態をも意味する。そして、次の文の「もう長くなっている」ということと矛盾してしまうのじゃ。したがって　現在の状態については、何も意味しない(a)の過去形がいいことになるのじゃ。

＊(3)の過去の出来事は「マサーミは車を買った」ということである。次の文では「今は公共の交通機関を使う必要がない」ということが言われている。マサーミが公共の交通機関を使わなくてもよくなったのは「自分の車を買って持っている」という現在の状態に関係しておるのじゃ。(a)と(b)のうち「車を買って持っている」という現在の状態をも表すのは(b)の現在完了形なのじゃ。したがって、ここでは、(b)が適していることになるのじゃ。

第二章

［マサーミ博士と健君・美香ちゃんの会話］

健：博士。博士が今、教授をやっているのは、過去に‘教授’になった、という出来事があったからでしょう？

博士：そうじゃよ。英語で言うと、Masami has become a professor.じゃのう。

美香：それはいいんだけど．．でもいつから‘教授’だったのかは、わからないのよね。

健：そうなんだよね。博士、いついつから‘教授’だった、ていうのはどう言うの？

博士：わしが‘教授’になったのは、1960年じゃ。そして今も‘教授’じゃから、君たちが聞きたいのは、「マサーミは1960年からずっと‘教授’である。」というのを、英語でどうやって言うのか、ということじゃろ？

二人：そう！

博士：それはのう、Masami has been a professor since 1960. と言うのじゃよ。

二人：えぇっ！

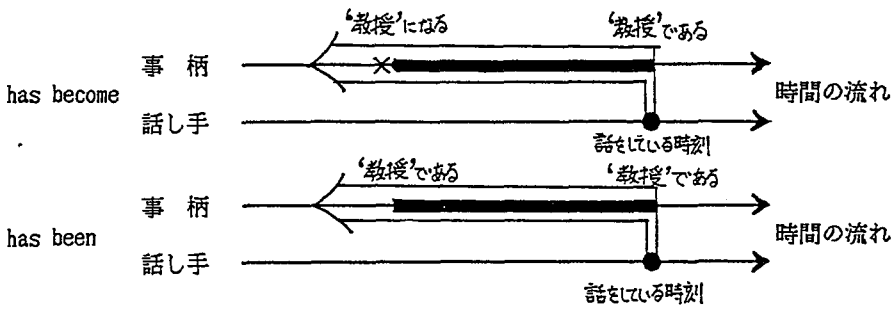
健：博士、どうして has become じゃなくて、has been　て言うの？

博士：わしが‘教授’になったのは1960年じゃと、さっき言ったのう。これを英語で言うと、Masami became a professor in 1960.と言うのじゃ。
そして‘教授’になった後は Masami was a professor.という状態になるじゃろ。
その状態が今、‘教授’であるという現在の状態まで続いておるのじゃ。
だから、has been　というのは、1960年から現在までの間のいつの時間をとっても「マサーミは‘教授’である」ということを表すのじゃ。

美香：じゃあ、since っていうのは何なんですか？

博士：since　というのはじゃな、「～以来、～以後、～から」という意味で、現在完了形にくっついて、現在完了形が表す状態が、いつ始まったか、を示すのじゃよ。
だから、上の Masami has been a professor since 1960.と言う文は「マサーミが今、‘教授’であるという状態は1960年から始まった」ということを表すのじゃ。

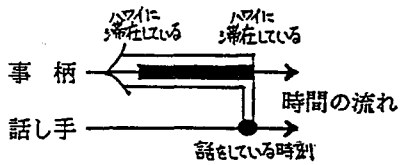
二人：なるほどっ！



〔問題3〕
次の例文とその解説を参考にして、下の(1)～(3)の現在完了形の文からわかる現在の状態とその状態がいつから始まったかを日本語で（　　）の中に書いてみましょう。
わからない単語は辞書を引いて調べましょう。

〔例文とその解説〕

Tom has stayed in Hawaii since last week.



＊現在の状態は「トムは今、ハワイに滞在している」のである。それが、“has stayed”によって、その状態が過去から続いていることが表されているのじゃ。
そして、“since last week”によって、その状態が始まったのが「先週」だ、ということが示されておるのじゃよ。

〔問題〕

(1) Michael has lived in Britain since last year.

現在の状態（マイケルは　　）

その状態はいつから始まったか　　（　　）

(2) Mika and Ken have known Dr.Masami since 1983.

現在の状態（美香と健は　　）

その状態はいつから始まったか　　（　　）

(3) Tom and Jerry have been good friends since they entered the grade school.
（小学校）

現在の状態（トムとジェリーは　　）

その状態はいつから始まったか　　(　　)

＊“since ”は、その後に、(1)(2)のように語句や、(3)のように節をとることができる。

［マサーミ博士のお話２］
現在完了形は『過去の事柄が現在と【関係】のあることを表した』。
しかし、その【関係】のしかたは、いろいろな姿で表れるのじゃ。
例えば、次の２つの文を見てごらん。

(a) Masami has become a professor.　(b) Masami has been a professor since 1960.

(a)も(b)も現在の状態は“Masami is a professor.”ということを表しておるのじゃ。
しかし、過去の事柄との【関係】のしかたの違いが、動詞（過去分詞）の違いになっておるのじゃよ。

＊(a)は「マサーミが‘教授’になった」という出来事が原因となって、現在「マサーミは‘教授’である」という状態になっている、ということなのじゃ。
これは

> 『過去の出来事の結果、現在の状態になっている』という【関係】である。
> このような【関係】を現在完了形の「結果」用法という。

「結果」用法では、動詞 BECOME のような『ある状態から別の状態へ変化することを意味する』動詞が使われるのじゃよ。

＊(b)は、「マサーミは‘教授’であった」という状態がずっと続いて、現在「マサーミは‘教授’である」という状態になっている、ということなのじゃ。
これは

> 『過去の状態が継続して現在の状態になっている』という【関係】である。
> このような【関係】を現在完了形の「継続」用法という。

「継続」用法には、動詞 BE （過去分詞 been ）のような『状態を意味する』動詞が使われるのじゃ。

≪「結果」用法を表す動詞≫の例（状態の変化を意味する）

動詞 GO	過去分詞 gone	動詞 BECOME	過去分詞 become
動詞 FREEZE	過去分詞 frozen	動詞 CLOSE	過去分詞 closed
動詞 TEAR	過去分詞 torn	動詞 LOSE	過去分詞 lost
動詞 CUT	過去分詞 cut	動詞 BUY	過去分詞 bought

≪「継続」用法を表す動詞≫の例（状態を意味する）

動詞 BE	過去分詞 been	動詞 LIVE	過去分詞 lived
動詞 KNOW	過去分詞 known	動詞 STAY	過去分詞 stayed

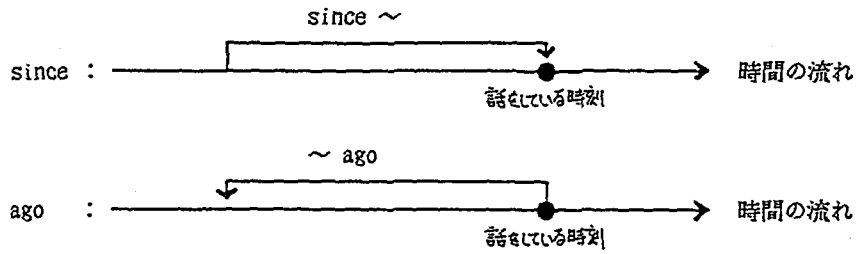
ここは、マサーミ博士の居間です。博士と健君・美香ちゃんが何かを話しています。
ちょっと聞いてみましょう。

健：博士はロサンジェルスに住み始めて今年で何年になるんですか？
博士：ちょうど10年目じゃな。
美香：もう10年間も住んでいるんですか！長いですねぇ。
博士：ところで、わしがロサンジェルスに10年前から住んでいる、というのを英語で何と言えばいいかのう？
健：つまり、『マサーミは10年前からロサンジェルスに住んでいる』というのを英語で言えばいいんでしょ。
博士：そうじゃよ。
美香：簡単よ。
博士：そうかのう？　まあ、やってみてごらん。

［質問2］
博士が健君・美香ちゃんに出した問題を君も一緒に考えてみよう。
問題は『マサーミは10年前からロサンジェルスに住んでいる。』を英語で何と言うかだよ。
下の □ の中に答えを書いてみよう。

（注）ﾛｻﾝｼﾞｪﾙｽ：Los Angeles

［マサーミ博士の解説４］
健君・美香ちゃんの答えは“Masami has lived in Los Angeles since ten years ago.”じゃったが、君の答えはどうじゃったかな？
確かに、日本語をそのまま英語に直すと上の文になるような気がする。しかし、英語では“since ”と“ago ”は下の図で示すように時間の捉え方が全く逆なため、一緒に使うことができんのじゃよ。したがって、“since ten years ago ”とは言えんのじゃ。



だから、英語では「10年前から」というのは、「10年間」というふうに考えて、“for ten years ”というように、for ～ という言い方をするのじゃ。

① Masami has lived in Los Angeles for ten years.

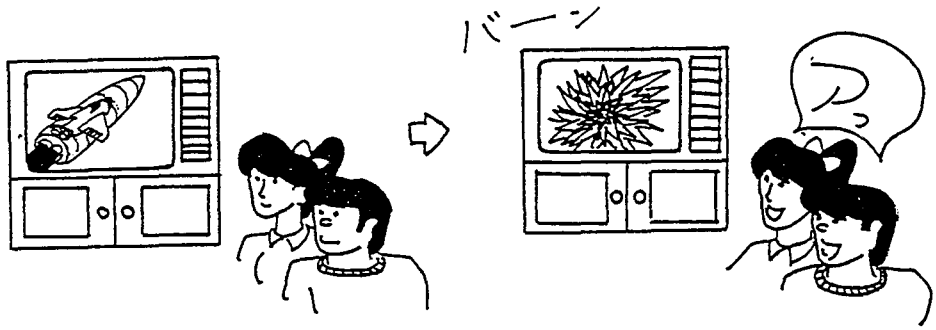
さらに、現在を含んでいることをはっきり言うためには、for the last (ten years)、for the past (ten years)《いずれも「この（10年）間」という意味》を使うのじゃ。

② Masami has lived in Los Angeles { for the last ten years. / for the past ten years.

②の文だと、①の文より、現在が含まれていることが、より強調されているのじゃよ。

また、これらの言葉は現在完了形では「継続」用法にしか結びつかないのじゃ。それで、since ～、for the last ～、for the past ～、という言葉がついていれば、その現在完了形は「継続」用法だ、ということになるのじゃよ。

第三章
［質問３］
マサーミ博士の家で、健君と美香ちゃんはスペースシャトルの打ち上げの様子をテレビで見ています。秒読みが終わりシャトルが空中を飛行しているところが映っています。
その時、突然、シャトルが火を吹き爆発しました。健君と美香ちゃんは「あっ！」と言ったまま、呆然とテレビの画面を見ています。そこへ、外から戻って来たマサーミ博士が、二人があまりにも、ボーっとしているので、「どうしたのか」と聞きました。
二人はマサーミ博士に「今テレビでスペースシャトルが爆発した」ことを言おうとしているのですが、下の(a)と(b)の文のうち、どちらの文を言う方が、より適切でしょうか？
（ ）の中に(a)か(b)を入れましょう。



(a) The Space Shuttle exploded.
（スペースシャトルが爆発した）

(b) The Space Shuttle has exploded.
（スペースシャトルが爆発した）

（　　）の文の方が、より適切である。

どうしてそう思いましたか？　その理由を書いてみましょう。

［理由］

電気科１年Ｂ組

《授 業 記 録》

(a)：21 人　(b)：16 人

T：(答えを選ぶのが)あまり進まないようだから，理由の方，先に言ってもらう。いいか？　理由の方。え～，なかなかユニークな発想をする仲林，ちょっと，理由の方読んでみれ，理由。

P：爆発は一瞬の出来事なので，マサーミ博士が来た時には，もう，爆発していないので(b)の文だと，現在完了形で，今も爆発し続けていることになるので，ここは(a)。

T：現在完了使うと，今でもまだ，爆発し続けているので，(a)だと。いいか？　よし，え～，(b)の意見のチャンピオン，長橋君，いってみよう。

P：はあ？

T：あっ，新井田，新井田。(b)，チャンピオン，新井田君。

P：爆発はね，一瞬だけどね，爆発して，スペースシャトルがなくなった状態がずっと続くから。

T：それで(b)だと。いいか？　そうしたらだな，今，仲林と新井田の意見について自分が書いたのに関係なくだぞ，(b)とか(a)とか書いてあるけども，それと関係なく，どっちの意見かに賛成だと思う方に，手上げる。いいか？　(a)か(b)。仲林が(a)の方の意見の代表だぞ。で，新井田が(b)の方の代表だぞ。おし，(a)だと思う人，手上げれ。……え～，(b)。接近してるから数えるぞ。1，2，3，4，……，15，16，17，18。

P：あれ？　数合わない。

T：誰か2回上げた？……一人，多いのか？　お～し，そしたら，もう一ぺんだ。仲林の方に賛成なの，ピッと。1，2，3，4，…，19，20，21。21だぞ。一人，増えてるぞ。そしたら，新井田の方に賛成なの。1，2，3，4，……14，15，16。合うか？　合うな。……おし，多数決で(a)を正解にするぞ？　いいか？　おし，ちょっと，ほら～，(a)の方，多いんだから，(b)の方少し，こっち，(a)の文を論破って，こら。新井田，ちょっと，こら。

P：だって，こんなの適当だもん。

T：なんも，自ら，そういうこと言ったらダメだべ。新井田，お前。あん？　したら，(a)，正解にしちゃうぞ？

P：いいよ。

T：いいか。　ん？　石川。石川，どっちだった？

P：(b)。

T：(b)か。どうして(b)だ。

P：今，この文では，「今，テレビでスペースシャトルが爆発した」ってことは見た時分に書いてあるもので，(a)の過去形にしたら，ちょっと，過去形で現在のことを表すのは，おかしいので。

T：過去形で現在のこと表すのはおかしいから，(b)にしたと。…え～，石川の意見で，ちょっと，変わったのいるか？　(a)から(b)に移るのいるか？　……三鍋，なんだ？

P：いや，なんでもないです。

T：なんかあんだべ。言えよ。……白井は？

P：いえ。

T：白井，どっちだった？　(b)か？　(a)か。お，んだら，石川と新井田の言ったことに，ちょっと，やっつける。

P：過去形の文には，現在を含まない「過去の特定の時」を表して，爆発したってのは過去形のことだから。

T：だから，過去だと。(a)だと。……うん，(a)の方が，どうも優勢なようだな。(b)，あきらめっか？　(b)。変えたいの変えていいぞ。今のうち，30秒だけ許す。(b)から，どっちでもいいけど，変わるの。(a)から変わるのいるか，(b)に？　いない？　(b)から(a)に変えるのいるか？　いない？　よし，したら，解説見るぞ。

土木科1年A組

《授業記録》

(a)：15人　　(b)：24人

（人数を調べ終わって）

T：え～，近藤，どっちにつけた？

P：(b)。
T：(b)。なんで(b)だ。…人の見ないで。
P：えっと，hasがあるから。
T：hasがあるから？　hasがあるって，どういうことだ。
P：現在完了形だから。
T：あん？　上田，なんだって？　言ってみれ。上田，言ってみれ。
P：現在完了形だから。
T：現在完了だと，どうしていいんだ？
P：現在完了だと，今，～したってなる。
P：(ザワザワ)
T：横川，どっち？
P：(b)だよ。
T：(b)。どうして(b)だ。
P：え～？　なんとなく。
T：なんとなく。……平野，どっちだ？
P：えっ？
T：どっちだ。
P：(b)。
T：(b)。…ピシっと言わねえんなら，多数決でいくぞ，こら。
P：いいよ。
P：ダメ。
T：垣田，言ってみれ。…垣田は，どっちだ？　(a)か？
P：うん。
T：どうして(a)だ。
P：(b)はね，haveが…（以下，聞き取れない）
T：梅，いいこと言ったな。ちょっと，言ってみれ。え～，垣田のが，言ったのは，爆発するってのは，ずっと続かないことであると。すぐ終わっちゃうことであると。
P：((a)を選んだ生徒が文句を言う)
T：よし，よし。え～，垣田の，そういう考えに対して，梅村は，よし，言ってみれ。
P：うんとね，今ね，現在完了のね，勉強してるからね，現在完了以外のやつはね，問題に出てこない。
P：(爆笑)
T：鋭い。鋭い。これ以上鋭い答えはないな。
P：まじかぁ？
P：俺，間違ってるべ，したら。
T：ダメ。一番安易な考え方してるべ，梅村は。大坂，なんか文句言ってたべ。ちょっと，言ってみれ。垣田が言ってたことに文句言ってたべ。
P：え，いいよ。
P：現在完了はね，今～し終わったっちゅう形になってるから。で，この問題で，今，スペースシャトルが爆発したってなってるから。

T：終わったけど，今だと。終わったけど，今だと。……あとないか？　あと，ほら。あとないか？　小山，どうだ？　ん？　(b)。どうして(b)だ。
P：爆発してから，マサーミ博士に話をするまで時間がかかっているから。
T：だから，(b)か。時間がたってるから，(b)。お～し，したら，ちょっと，見ちゃうぞ，これ。解説な。

《コメント》
‘完了’用法は4つの用法の中で，共起する副詞的語句の点からも過去非完了との区別が難しい用法である。この指導過程においては，‘継続’用法の後に‘完了’用法が来ているため，‘継続’用法の影響で間違う生徒がいるのが目立つ。しかし，過去非完了と現在完了の違い自体は明白に理解されてきているようであり，生徒の発言にもその違いを根拠にしている発言が多い。これもまた，生徒の判断をゆさぶる問題だと言えよう。

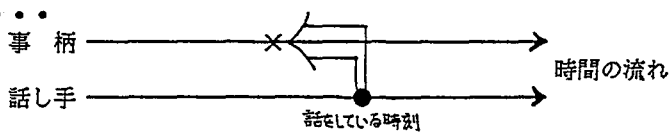
［マサーミ博士の解説5］

(a)の文は過去形なので、現在と【関係】をもたない言い方じゃろう。
だから、健君と美香ちゃんが、スペースシャトルの爆発をテレビで見てからマサーミ博士に話をするまで、隔たりがあることを感じさせるのじゃ。
それに対して、(b)の文は現在完了形なので、現在と【関係】をもつ言い方じゃろ。だから、健君と美香ちゃんがマサーミ博士に話をする直前にテレビでスペースシャトルが爆発したという印象を与えるのじゃ。
つまり、(b)の現在完了形の文は、「スペースシャトルが爆発した」、という過去の出来事が現在の出来事であると思えるくらい『現在に極めて近い過去に起きた』ということを表しているのじゃ。
したがって、(b)の文の方が(a)の文よりも、適しておるのじゃよ。

そして、このような

『文の表す出来事が現在に極めて近い過去に起きた』
という【関係】を現在完了形の「完了」用法という。

図示すると・・・



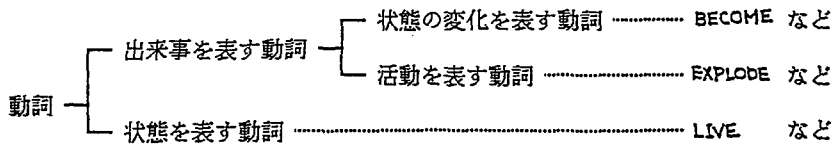
また、現在完了形の「完了」用法には、過去の出来事が現在に近い過去に起きたということを示すため、“just”（「ちょうど」という意味）という言葉が、よく使われるのじゃ。

The Space Shuttle has just exploded.

I have just finished my dinner.

The taxi has just arrived.

＊“just”は現在完了形では「完了」用法にしか結びつかないのじゃ。だから、現在完了形に“just”が結びついておれば、その現在完了形は「完了」用法だ、ということになるのじゃ。「完了」用法には、動詞 EXPLODEなどのように、『出来事を意味する』動詞が使われるのじゃ。
＊ここまで出てきた動詞を分類すると、次のようになるのじゃ。



＊「出来事を表す」動詞には、「結果」用法に出てきた「状態の変化を表す」動詞が含まれているのじゃ。

［質問4］
次の状況で『　』の中を英語で表すとしたら、（　）の中に①②のどちらを選んだ方がふさわしいですか。

美香ちゃんは朝早く、『近くの公園を散歩していたら、ジェリー君に会いました。』このことを、午後になってやっと起きてきた健君に話しました。

I（　　）Jerry in the park this morning.
（私は今朝、公園でジェリーに会いました）

① have met　　② met

答え	

どうして、そう思いましたか？　その理由を書いてみましょう。

［理由］

電気科１年Ｂ組

《授 業 記 録》

①：10 人　②：27 人

（人数を調べ終わって）

T：①にやってる人，理由書いている人いねえんだけど，①で，理由言え。①。理由。①。え～，①，ちょっと，理由考れよ，ちゃんと，こら。広川，ちょっと，②の理由言ってみれ。でかい声で。

T：‘完了’用法は現在に近い過去を言うんだけど，で，その文では，ジェリーと美香が会ったのは，朝早くで，健に言ったのは，午後だから，その間には，だいぶ時間があるから，現在に近い過去ではない。

P：決まりだ，これでな。

T：よし。なかなか考えた。え～，今の広川の説に反論あるか？　あん？　宮崎，ない？　宮崎，①か。①，まいったか？　長谷川は？

P：まいりました。

T：石川。あん？　…まいったか？　おし，ちょっと，解説見るぞ。

土木科１年Ａ組

《授 業 記 録》

①：８人　②：31 人

（人数を調べ終わって）

T：諏訪，甘くなかったべ。どっちだ？　どっち？

P：①。

T：①か。理由言ってみれ。理由。諏訪，どうして①だ。

P：have があるから。

---------- しばらく，ザワザワ ----------

T：梅村，なんで②だ。

P：はい？

T：なんで②だ。

P：さっきの have がついてたやつは，爆発したのは過去なんだけども，直前にあったことを話してると，この爆発したのは，直前の過去なんだけど，すぐ手前で，手前にやるって，なんだけど，でね，こっちはね，午後になってね，午後になって起きてきた健君に話したってことは，ずっとあとになって話したことだから。

T：あん？　いいんだ，いいんだ，いいんだ。いいとこ言ってんだ，こら。あん？　ちゃんと聞いてたよ，俺なんて，バカモノども。だから，梅村は，会ったのは午前中に会って，え～，午後になって起きてきた健に言ってんだって，こういうこと言ってんだよ。

P：そんなこと書いてあるしょ。

T：スペースシャトル，そこちゃんと読んでるかどうかだよ，今野君。

P：う～ん。

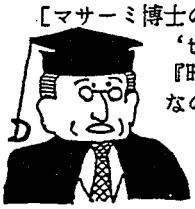
T：そこ読んでるか，どうかってことだよ。梅村，そこ読んで，ちゃんと，指摘してんだよ。

P：俺もちゃんと読んでるよ。
T：読んで，どう思った？　読んで，どう思った？
P：俺も②だったよ。
T：梅村，それで終わりか？　だから，午後になって言ってるから，その先。
P：だからね，午後になってね，言ってるからね，この，現在完了の，だと，朝会って，会ったあとにね，すぐ言わなきゃ，この，あの，朝，言わないと，その，現在完了ってのは成り立たなくて，そして，午後になって言ったから，現在完了じゃなくても，現在完了じゃない方が合っている。
T：うん，鋭い。梅村，鋭い。よし，ちょっと，梅村の大体，言い尽くしたみたいなとこあるから，もうちょっと簡潔に言えばな，よかったけども，ちょっと解説見るぞ。……よし，須田。もうちょっと，梅，言ったこと簡潔に，須田，言ってるから，須田，ちょっと，言ってみれ。
P：午後になって健君に話したと書いてあるから，ジェリーが会ったのは，朝，早くで，今も一緒にいるわけじゃない。
T：（解説を配る）

《コメント》

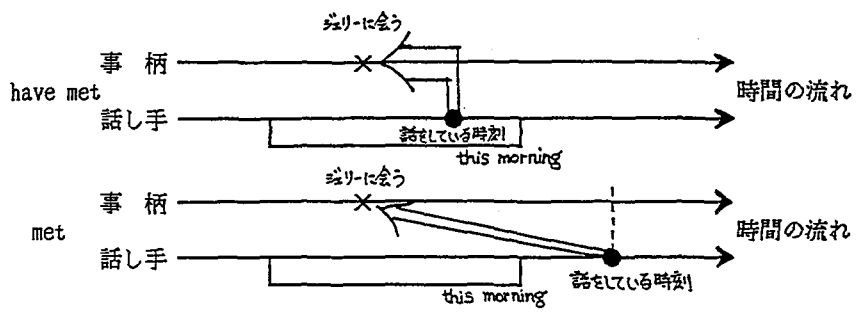
ここの問題は，共起する副詞的語句が現在を含むか否かが判断の基準となる問題であり，言い換えれば，現在完了は現在を含み，過去非完了はそうではないということがわかっていなければ，正解することができない問題である。とりわけ，土木科A組の生徒の発言が，ほぼ，解説に近い理由であることには注目すべきであろう。

［マサーミ博士の解説６］



‘this morning’ は “just” と異なり、はっきり「いつ」ということを表す『時を表す副詞語句』なのじゃが、現在を含んだり含まなかったりする言葉なのじゃよ。

- I am fine this morning.
- I got up at seven this morning.



質問４で①の “have met” を選ぶと現在完了形は現在と【関係】をもつ言い方なので、“this morning” は現在を含んでいなければならないのじゃ。しかし、質問４では「話をしている時刻」＝現在は午後なので、文が表す現在の時間と実際の現在の時間が矛盾して不適切なのじゃよ。

②の“met ”を選ぶと、その矛盾はないのじゃ。過去形には、現在を含まない『時を表す副詞語句でなければならないのじゃ。

また、次のように、「話をしている時刻」が午前中であれば、“this morning”は現在完了形に結びつくことができるのじゃよ。

美香ちゃんは朝早く、『近くの公園を散歩していたら、ジェリー君に会いました。』このことを、朝の9時頃起きてきた健君に話しました。

I have met Jerry in the park this morning.

現在完了形の「完了」用法には、過去の出来事が「いつ」起こったかを示す言葉がつくことがある。しかし、その場合、『時を表す副詞語句』が示す時間の中に「話をしている時刻」＝現在を含んでいる、という条件がつくのじゃよ。逆に、『時を表す副詞語句』が示す時間の中に現在を含んでいないときは、過去形の文にしなければならんのじゃ。“this morning”のように、現在完了形や過去形につく言葉としては他に、“today ”“this month” “this week ” “this year ”などの言葉があるのじゃよ。

第四章

しばらく遊びに来なかったジェリー君が、博士の家にやって来ました。彼は家族と一緒に旅行に行っていたのだそうです。いま、旅行中に泊まったホテルの写真を見ながら、健君・美香ちゃんに話をしています。
以下、ジェリー君の話です。

（ジェリー君が泊まったホテルの写真を見ながら）
このホテルはね、アメリカが独立をしたときからあるホテルなんだよ。

(1) それでね、ワシントン大統領がたびたびこのホテルに泊まったことがあるんだ。

(2) 他にもね、今のレーガン大統領がたびたびこのホテルに泊まったことがあるんだ。

(1) The President Washington has often stayed at this hotel.

(2) The President Reagan has often stayed at this hotel.

(注) G.Washington(1732-99) ／ R.Reagan(1911-)

[質問5]
ジェリー君の話のうち、下線部を英語で言うとすれば、上の(1)(2)の英文は正しいと思いますか？ 下の選択枝の中から自分の判断を1つ選んでみよう。

① (1)だけが正しい
② (2)だけが正しい

③ 両方正しい
④ 両方まちがい　　君の判断 [　　]

どうして、そう思いましたか。その理由を書いてみましょう。

［理由］

— 21 —

電気科1年B組

《授 業 記 録》

①：0人　②：23人　③：6人　④：5人

（人数を調べ終わって）

T：多数決で行けば，②だけども，どうだ？

P：②でいい。

T：②でいい？　おし，したら，岡本，理由。②でいい理由，言ってみる。

P：うんとね，(1)のワシントン大統領は，もう死んでいないから，そのホテルに泊まったりすることはできない。で，(2)のレーガン大統領の方は，まだ生きているから，そのホテルに泊まったりすることがある。だから②。

T：だから，②。……お～し，向島，ちょっと，理由言ってみれ。向島，なんだ？

P：現在完了形は現在に近い過去に使われるから，昔の人や，ワシントン，昔の人だから使われない。

T：ワシントン，昔の人だから，ワシントンには使われないと。え～，それで，なに，向島は，②か。健司，③だったか？　理由言ってみる。③。

P：現在完了は経験の意味を表すのもあるから，これは，2つとも経験みたいな意味があるから，そのホテルが経験していることだから，両方とも正しい。

T：お～，なるほど。現在完了で，経験表すと。両方とも経験表してるから，ホテルから見れば，両方とも経験を表すことになる。え～，石川，木屋路，どっちか，④である理由。

P：考え中。

T：考え中？　木屋路は？　…中村，何に手上げた？　②？　よし，②の理由。

P：ワシントンは死んでしまっているけど，レーガンは生きているので，たびたび，泊まっていると思うから。

T：ありうるから。あとないか？　俺はこういうこと考えたって。

P：先生，先生。ここのさ，レーガン生きているからさ，たびたび泊まっている，じゃないの？

T：ん？　たびたび，泊まっている？　あ～？　泊まっている，なら，なんも，こういう形，使わなくていいじゃない。

P：いや，たびたび泊まっている，じゃないの。
T：日本語で判断してもダメなんだぞ。…おし，ちょっと，解説見るぞ。

土木科１年Ａ組

《授 業 記 録》

①：０人　②：31人　③：１人　④：２人

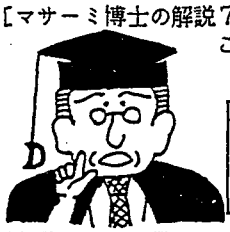
（「質問５」を解き終わって）

T：おし，いくぞ。お～し，①。近藤，こら，①。…①，手上げる。
P：いないよ。
T：いないのか？　②，手上げる。あら。1，2，3，4，5，6，……圧倒的だ。……③，手上げる。③。③，いないんだな。④，手上げる。おっ，橋本君，申し訳ない。
P：二人。
T：ん？　③だぞ。今，③。橋本，③なんだべ？　おし，④。1，2。
P：意表ついて④かもしんねえな。
T：あん？　おし，これは，ちょっと，極端に差がついちゃったんで，ちょっと解説見ちゃうぞ，これ。な。

《コ メ ン ト》

「質問５」は‘経験’用法における主語の現存という条件に絡んで包含的過去ということが問題となる。逆に言えば，主語が現存していなければ，‘経験’用法において包含的過去を示し得ないから，過去非完了でなくてはならないということが問題となるのである。正解した生徒の理由はこの点を自分なりの言葉で表現したものと言えよう。

［マサーミ博士の解説７］



ここでもう１度、現在完了形の文が表す意味について見ておこう。

現在完了形の文	「過去から現在まで広がる期間の中にある」事柄を表す。そして、その事柄が現在と【関係】のあることを意味する。

質問５について見てみると．．．．

(1)ワシントン大統領は、明らかに過去の人で現存していない人じゃろ。そして、「ワシントン大統領がこのホテルに泊まったことがある」というのは、ワシントン大統領が「生きている間」に起こったことじゃろ。これは、現在を含まない過去に起きた出来事ということになるのじゃ。したがって、現在と【関係】をもつことができんから、現在完了形の文では不適切なのじゃ。
(1)は次のように言わんとならんのじゃ。

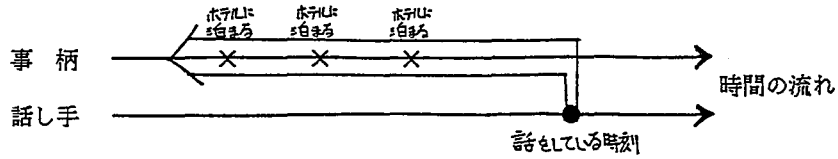
(1)’　The President Washington often stayed at this hotel.

(2)レーガン大統領は今も生きている人じゃろ。そして、「レーガン大統領がこのホテルに泊まったことがある」というのは、「現在に至るまでの間」にレーガン大統領に起こったことで、そのことをレーガン大統領は、経験として現在持っているということを表すじゃろ。したがって、(2)は現在と【関係】をもつので、現在完了形の文でいいのじゃ。

(2)の現在完了形が表す【関係】は次のような【関係】であるのじゃ。

> 『現在に至るまでにあった事柄が、文の主語の経験としてある』という【関係】である。この【関係】を現在完了形の「経験」用法という。

図示すると、次のようになるかのう。



【問題4】
あと数日で、健君と美香ちゃんが、日本へ帰る日がやってきます。ちょうど先日、ハワイから帰って来たトム君と一緒にジェリー君が遊びにやって来ました。
下の会話は四人で話をしている、その一部です。

ジェリー：I have visited Japan before.
美香：Jerry , あなたは何回日本を訪れたの？①
ジェリー：Only twice.
健：Jerry , 君はいつ日本を訪れたんだい？②
ジェリー：Five years ago and ten years ago.
トム：Mika and Ken, I also visited Japan three years ago, and·····

【以後、四人の会話は続く．．．．】

(1)下線部①を英語で言うとしたら、(a)、(b)、(c)のうち、どれがいいですか。

(a) How many times have you visited Japan ?

(b) How many times did you visit Japan ?

(c) How many times do you have visited Japan ?

（　　）がいい

(2)下線部②を英語で言うとしたら、(a)、(b)、(c)のうち、どれがいいですか。

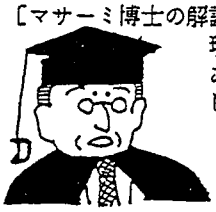
(a) When have you visited Japan ?

(b) When did you visit Japan ?

(c) When do you have visited Japan ?

(　　) がいい

［マサーミ博士の解説８］



現在完了形では過去分詞の［補助の役目］をする “have／has ” があるため、疑問文を作るときには、‘do／does’ は必要ないのじゃ。したがって、(c)は正しくないのじゃ。

> 現在完了形の疑問文は(1)(2)の(a)のように、have／has を主語の前に出してつくる。⇒ “have／has ＋主語＋過去分詞～？”

現在完了形の「経験」用法は「文の表す事柄が、主語の過去から現在までの間に、少なくとも１度あった」ということを表した。そのため、「経験」用法では、「文の表す事柄が、今までに何回あったか、どの程度ひんぱんに起こったか」ということが問題になるのじゃよ。それで、「経験」用法には『回数や回数の度合・経験の有無を表す副詞語句』が、結びつきやすいのじゃ。

「経験」用法に結びつく副詞語句
(1)回数---：once（１度）、twice （２度）、three times （３回）、～times（～回）

(2)回数の度合：often （しばしば、よく）、sometimes （時々）など

(3)経験の有無：ever（今までに）、never （１度も～ない）

これらの言葉は現在完了形では、「経験」用法にしか結びつかないのじゃ。
したがって、これらの言葉が結びついておれば、その現在完了形は「経験」用法だ、ということになるのじゃ。

＊‘never ’ は『経験の否定』を表す言葉なので、この言葉がつくと、「文の表す事柄が今までに１度もなかった」という強い否定を意味するのじゃ。

I have never visited Japan. （私は今まで１度も日本を訪れたことがない）

現在完了形の否定文も［補助の役目］をする “have／has ” があるため、‘do／does’ を使う必要がないのじゃ。

> 現在完了形すべての否定文は、have／has のすぐ後に ‘not ’ をつけるとできる。
> ⇒ “主語＋have／has ＋not ＋過去分詞 ～ ”
> ただし、 “have not” → “haven’t ”、 “has not ” → “hasn’t” にできる。

I haven’t visited Japan before. （私は以前日本を訪れたことがない）

［マサーミ博士のお話３］
ここでは、現在完了形における動詞 go の特殊性について話をしておこう。
動詞 go というのは、「（～へ）行く」という意味を表し、「戻って来る」ということは意味していない言葉なのじゃ。そのため、現在完了形の「結果」用法のところで見たように、“have／has gone to （目的地）”は『（目的地）へ行って、今はいない』ということを表すのじゃ。

現在完了形の“have／has gone to （目的地）”は、つねに、『今、ここにはいない』ということを表すため、「経験」用法では使われないのじゃ。
その代わりに、日本語の「～へ行って来る」に相当するような『～へ行って戻って来る』ということを表すのに、“have／has been to ”を使うのじゃ。

(1) He has been to America three times.
（彼は３回アメリカへ行った［行って来た］ことがあります。）

“have／has gone to ”と“have／has been to ”の違いは、「完了」用法にも現れるのじゃ。次の２つの文を見てごらん。

(2) He has just gone to the library.（彼はちょうど図書館へ行ってしまった）

(3) He has just been to the library.（彼はちょうど図書館へ行って来たところだ）

(2)は「彼」が「図書館へ行って、今いない」ことがわかる。
また、(3)は「彼」が「図書館へ行って戻って来て、今いる」ことがわかるのじゃ。
違いを図示すると、次のようになるかのう。

“have／has gone to （目的地）”　（出発地）　行ったまま　（目的地）

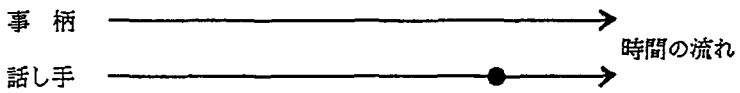
“have／has been to （目的地）”　（出発地）　行って戻って来る　（目的地）

まとめ
［問題５］
次の現在完了形の文に用法名をつけて、図示をしてみよう。

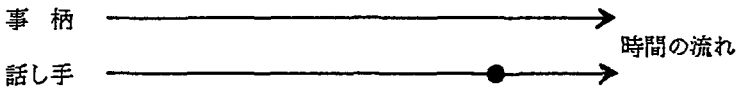
① Dr.Masami has been to Japan four times.　①（　　）用法

事 柄 ――――――→
話し手 ――――――●→　時間の流れ

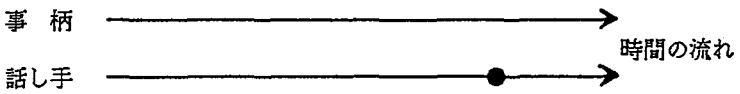
② Tom has broken his leg.　②（　　）用法



③ Jerry has lived here for the last sixteen years.　　③（　　）用法



④ Ken and Mika have just come to my house.　　④（　　）用法

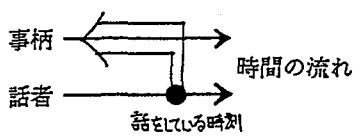


〔現在完了形ってこんなことだ〕

＊形：　have／has ＋　過去分詞

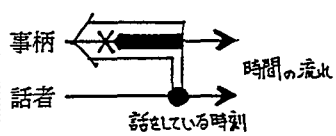
＊現在完了形の表す意味

『過去から現在まで広がる期間の中にある』事柄を表す。そして、その事柄が現在と【関係】のあることを意味する。



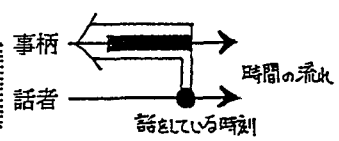
＊現在完了形が表す４つの【関係】のしかた・・・四用法

①「結果」用法　「過去の出来事の結果、現在の状態になっている」という【関係】を表す



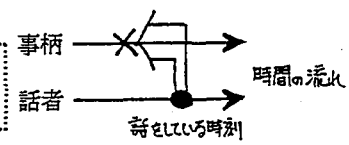
使われる動詞：「状態の変化を表す」動詞
使われる副詞語句：時を表す副詞語句は結びつかない

②「継続」用法　「過去の状態が継続して現在の状態になっている」という【関係】を表す



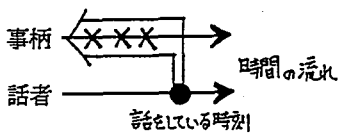
使われる動詞：「状態を表す」動詞
使われる副詞語句：since～、for ～、for the last～、for the past～などの〔期間を表す〕副詞語句

③「完了」用法　「文の表す出来事が現在に極めて近い過去に起きた」という【関係】を表す



使われる動詞：「出来事を表す」動詞
使われる副詞語句： just などの〔漠然と過去を表す〕副詞語句
this morning などの〔現在を含んだ〕副詞語句

④「経験」用法　「現在に至るまでにあった事柄が、文の主語の経験としてある」という〔関係〕を表す



使われる動詞：特に制限はない
使われる副詞語句：〔回数や回数の度合・経験の有無を表す〕副詞語句

健君と美香ちゃんが帰る日がやって来ました。マサーミ博士は、二人に、アメリカ東海岸へ遊びに行っている博士の娘、Ｌｕｃｙからの手紙を渡しました。
次の文はその手紙です。最後に、この手紙を読んでみましょう。

Washington, D. C.
August 7, 1986

Dear Mika and Ken,
I have been in the East since last week. I have seen Boston and New York this week. And I have come to Washington. I'm now seeing the sight of Washington, D. C. I have been here for the last three days. It has been very nice this week, and I have had a pleasant time. I have visited several famous places in Washington. I have never seen such a beautiful city.
I hope you'll come and see it some day.

Your friend,
Lucy

《む　す　び》

現在完了と過去非完了の間の本質的な意味上の違いである，包含的過去と除外的過去の違いは，かなりよく生徒に理解されたと思われる。現在完了の用法の理解については，ここでは見ることができなかったが，現在完了をその本質的な部分において理解させることができただけでも授業は成功だったと言えよう。本指導過程が，現在完了を含めた完了の指導過程の叩き台となれば幸いである。

〈注〉

1) Rodney Huddleston, *Introduction to the Grammar of English* (Cambridge: Cambridge University Press, 1984), pp. 163.
2) 安藤貞雄『英語教師の文法研究』，大修館書店，1983年，pp. 141－145.
3) Randolph Quirk et al., *A Comprehensive Grammar of the English Language* (London: Longman, 1985), p. 193－194.
4) Quirk et al (1985 : 192).
5) 大江三郎『動詞(I)』「講座・学校英文法の基礎」第四巻，研究社出版，1982年，p. 106.
6) 大江（1982 : 110－111）.
7) 大江（1982 : 112－114）.